

令和五年

松香 Komunikado

令和五年十一月度 月次祭 ぐあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiuj

ただいまは松香分苑の令和五年十一月度の月次祭を、遠方からもご参拝いただき、すがすがしく齋行させていただきました。ご参拝・ご奉仕くださいました皆様方、又オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださりました方々、誠に有難うございます。

先日、開祖大祭が執行されました。とても天気が良く、奥津城は少し紅葉して居りました。教主様は、長生殿前の土地取得が無事できたことについて、「神さまから頂戴した土地ですから、何よりも一番に神さまに喜んでいただけますように、そして信徒の皆さまはもちろんのこと、綾部市民の皆さまにも喜んでいただけますように、また日本各地から、世界中からも多くの人が集まってく

十一月十二日発行

第三百八号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・二〇

電話 ファックス

〇五三二一・六三二・二一七三

発行責任者 山本 健

ださるような場になればありがたいと願っています」とご挨拶なされました。また、前日夜には四方総務より、入札の際のお話がありました。お互いに値段を書いて箱に入れ、高いほうに一回で決まるという方式で、今までにない緊張でしたが、長生殿でも齋主が交代で御祈願を続けて頂いたお陰もあり、開始十分前にある奇跡も起こり、無事落札できたのは大神様のお蔭とのことでした。教主様もずっと敷地の周りに御神水をまかれておられたとのお話も御座いました。詳細は別途掲載されることと思えます。

また、大祭には、台湾道院の御一行様が三十四名、岐阜道院から二十名参拝されていました。大本が道院と提携して百周年になり、七月には教主様はじめ、大本信徒が台湾道院を参拝されたことに対して、来られたものと

思います。大祭後に書画壇の解説がありました。私もお願いして居りましたので、書の受け取りと、その意味を伺うため、祭典後の夕方、指定の時間に行き、説明を受けました。書画壇を見てびっくりしました。ルーモの名前と同じ「光」で、添え字が、「溢」れる、「華」やか、「四」、「健」でした。ルーモでは、四代様のお許しを受けて、聖師様の光の書を、包装紙などに使っています。まさに「光」だったのです。その解説も、思わず慢心してしまいそうになるほど、良い内容でした。益々、御神業に励まして頂かねばと、兜の緒を締め直しました。

次に、大祭でお会いした、ある方のお話を紹介させていただきます。

本部でご奉仕もされておられました。その方が、実家は、何代も続く由緒あるお寺ですが、ある理由で、手伝ってほしいと、頼まれ実家に戻り、お寺の本堂の掃除を手伝っておりました。そこで彼女のために、新築の一軒屋を立ててくれて、今そこに大本の大神様を祭っているとのことでした。本堂の真後ろですので、皆大本の神様に向かってお参りしていることになっています、とのことでした。その方の友人で、別の地域にお住いの方ですが、そのある寺の檀家が、ある理由で全員が神社に

かわったという話があり、彼女も将来、皆が大本に転宗されることを、祈っているとのことでした。

まだまだ他にもエピソードがあります。本部に行かれた際には、他の信徒の方から「神徳話などを聞くのも有意義だと感じました。興味のある方は、山本まで問い合わせください。

話が変わりますが、昨年教主様より「縄文時代は争いの無い平和な時代が一万年〜一万五千年続いた」というお話がありました。それが世の中に移ってきたかのように、アフリカタンザニアのブンジュ村に行った、ペンキ画家ショーゲンの体験談が爆発的に広まっています。二百人位のブンジュ村の村長の祖父がシャーマンで、夢で日本の縄文人が出てきて、縄文時代の生き方を教えてくれたというものです。ヒスイコタローというベストセラー作家との共著も発売即完売というような状況で、再販が一週間くらいでできたということは、予約が殺到したために既に準備していたものと思います。アマゾンでは、発売前にプレミアムがついているほどでした。詳細は、「誰のために生きる」という名の本が、YouTubeでショーゲンと検索しますと沢山出てきます。ぜひご覧ください。